

# インディアナ日本語学校便り

だいごう  
第38号

令和6年3月16日事務所 317-255-1631 メール [ijls@indiana-j-school.net](mailto:ijls@indiana-j-school.net)

(HP) <http://www.indiana-j-school.net>

校長 森 勝義

## 「令和5年度修了式」

### ～令和5年度卒園式・卒業証書授与式～

校長 森 勝義

本日、幼稚部38名、小学6年生36名、中学3年生11名、高校3年生8名の卒業証書授与式を実施します。卒業する喜びや、上級学年に進級する喜びを心に抱いて、臨むことと思います。

保護者の皆様には、運動会をはじめ、書き初め体験、高等部弁論大会、卒園式・卒業式とコロナ禍が落ち着いた今年度、ご協力いただきましたこと、心から感謝いたします。

令和5年度インディアナ日本語学校、卒園式・卒業式の行事

#### 幼稚部卒園式での校長式辞

インディアナ日本語学校のよい子のみなさん、卒園おめでとう！

みなさんは、今日で、インディアナ日本語学校の幼稚部を卒園します。

この1年間、楽しかったですか。お友達と仲良く、協力して過ごせましたか。

幼稚部では、鯉のぼり集会、クリスマス集会、節分集会などの行事だけでなく、レニー先生とマターン先生の教えをしっかりと受けて、「ことばの学習」「音楽リズム」「お絵かき」など、たくさんお勉強をしてきましたね。

また、お友達といっしょに生活する中で、集団でのおやくそくを守ること、がまんすることの大切さとともにみんなで協力して創り上げる楽しさや喜びを味わったと思います。これは、お家の中では、決して体験できないことです。

とりわけ、運動会は心に残る大切な思い出になったことと思います。緑の芝生の中できれいなバルーンを広げて踊った「元気にバルーン」、親子で走った「輪になって走ろう」、そして30メートルを力いっぱい走りきった「30m走」、今でも鮮やかに思い出することができますよ。

楽しかった幼稚部も今日で「卒園」しますが、4月からは、ピッカピッカの小学1年生になります。元気いっぱい頑張ってくださいね。

最後になりましたが、保護者のみなさん、お子様のご卒園本当におめでとうございます。改めて、心よりお祝い申し上げます。

お子さまの笑顔と幼稚部での出来事を一つ一つ聞くことが、ご家庭の幸せの源だったと思います。子どもは大切な大切な「宝物」です。

これまでの幼稚部への物心両面からのご支援とご協力に感謝しまして、式辞いたします。

## 卒業証書授与式での校長式辞

クロッカスと、水仙の花が咲き乱れ、木蓮の木々も、ピンクに咲き誇り、ここインディアナにも春が訪れました。四季折々の木々が新入生を迎え、卒業生の旅立ちを祝福してくれています。

本日は、保護者の皆様、学校運営委員、ご来賓のご臨席を賜り、2023年度、卒業証書授与式を、挙行できますこと、心から感謝申し上げます。3年間、コロナ禍のもと、かつてない時代を、生き抜いた君たちと、今日の式ができることは、とても幸せなことだと思います。この良き日、卒業証書を手にした、45名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

小学6年のみなさん、いつも元気に挨拶を返してくれ、お互いを支え合う、優しい雰囲気を持った学年でした。

中学3年の君たち、君たちはいつも楽しそうに授業を受けていて、担任の先生たちとの絆を感じました。まるで家族のような学年でした。

高校3年の諸君、これまで、つらい思いを乗り越えてきた自信が、日々、表情に表れていました。

今、みなさん、君たち、諸君の、むねのうちには、日本語学校で、過ごした日々を思い起こして、様々な思い出が、走馬灯のように、よみがえっていることと、思います。

紅白に分かれて、大接戦を繰り広げた運動会、何週間も悩みながら、自分の意見を、文章化し、発表した弁論大会。コロナ禍の3年間、素顔を覆ったままの生活、大声でわらうことも、許されず、かつてない時代を、生き抜いてきた君たち、本当は運動会でも、大声で、力の限り、応援したかったでしょう。残った写真はマスクばかりだったと、と思いますが、精神的に、強くなったと思います。

日々の現地校の宿題に加え、日本語学校の宿題にも、真摯に取り組んだ家庭学習、仲間と楽しく学んだ授業、そして友と遊び、語り合った休み時間、それぞれの担任との深い信頼関係、様々な思い出が、みなを成長させました。一人一人が強く、たくましく、優しく、我々教職員が、頼もしく、思うまでに、立派に成長しました。君たちの残した「栄光の足跡」に対し、心より敬意をあらわし、惜しみない賛辞を送ります。

4月からは、それぞれの新天地でまた、友を見つけ、恋をし、夢を追い続けていき、一歩ずつ、階段を登り、「おとな」になっていくことでしょう。為すべき、一つひとつに、全力を尽くし、能力の限り、頑張ってください。

君たちには、必ず応援してくださる、人たちがいます。そうです、こんなにもたくさんの友、そして温かいご家族、周囲の方々、慕ってくれる、後輩たちがいるのです。支えてくださっている、たくさんの人たちがいるのです。多くの方々に、感謝の意を、あらわしてほしいです。君たちは「日本の宝」です。

また、日本各地で、起きた大震災、自然災害を、決して、風化させることなく、被災された、多くの方々に、心から、哀悼の意をあらわしてほしいです。もう一度言います。君たちは「日本の宝」です。ぜひ君たちの力で、日本を、アメリカを、盛り上げてほしいです。

そして、みなさん、君たち、諸君、忘れてほしくないのは、保護者の愛情弁当、ど

んな思いを込めて、毎回、持たせてくれたんでしょう。お弁当への感謝の気持ちを、決して忘れてはならない。

結びになりますが、本日、ご臨席賜りました日本人会会長、吉田様、学校運営委員会の皆様、心より感謝申し上げます。

保護者の皆様、卒業生をいつくしみ、はぐくんだ、深い愛情と、尊いご辛苦、心から敬意を表します。さっそうと、巣立ちゆくお子様に、感慨もひとしおのことと、拝察します。そして本校の、教育推進に、多大なるご理解、ご協力を、いただきまいましたことに、感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

最後に、巣立つ君たちへの、お祝いの言葉をもって、わたくしの、式辞とします。  
45名の卒業生の前途に栄光あれ。

小学5年生の送辞 小学5年1組 深川 緒莉 2組 門脇 歩夢

インディアナのきびしい冬の寒さの中にも春のおとずれを感じるこのことのできる季節となりました。

本日、晴れてこのインディアナ日本語学校卒業式をむかえられた小学六年生、中学三年生、高校三年生の皆さん。

ご卒業おめでとうございます。在校生を代表し、心よりお祝い申し上げます。

二〇二〇年、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行が起き、わたしたちの生活が大きく変化しました。学校にも行けなくなり、週に一度しか会えない仲間たちとの楽しい時間もうばわれてしまいました。苦しい状況の中で、先ばい方はぐっところえながらも、自分ができる精一ぱいの努力をされてきたと思います。

その後、コロナがおさまり、また友達と汗をかいて遊んだり、楽しく話をしたりすることができるようになりました。特に、向かい合ってたわいもない話をしながら食べたお弁当は忘れられない思い出となったのではないのでしょうか。

運動会では、みんなで協力し合ってがんばり、応援している姿をたくさん見ることができました。

わたしは、先ばい方の応援の声がきこえるたびに、せ中をおしてもらっている気持ちになりました。

先ばい方が一生けん命リレーで走るすがたはとてまかつこよく、全生徒の気持ちがひとつになったしゅんかんでした。

先輩方の何事にも努力をおしめず、探求し続けるすがたはいつもわたしたちの目標です。

これからも、ぼくたちのあこがれの先ばいであり続けてください。

最後に、先ばい方のそれぞれの進路先でのご活躍とご健康を心から願いつつ、感謝の気持ちと共に、送る言葉といたします。

卒業生の皆さん、本日はご卒業、本当におめでとうございます。

## 高校3年生一同答辞

厳しい冬の寒さも終わりを告げ、暖かい春の陽気に包まれるこの良き日に、私たちは卒業の日を迎えました。

先生方、在校生の皆様、本日は私達のためにこのような素晴らしい式典を開催していただきありがとうございます。またご来賓の皆様、保護者の皆様、本日はこの式典に足を運んでいただき心より御礼申し上げます。

そして、あたたかい祝辞や送辞をいただき感謝の気持ちでいっぱいです。在校生の皆さん、これからも日本語学校生活を充実させ、楽しんでください。応援しています。

幼稚部から高等部まで、様々な思い出があります。幼稚部では日本文化の行事や数々のイベントを楽しみ、小学部では運動会に参加し、中学部では中間/期末テストに励み、高等部では弁論大会、運動会での裏方の役割などで学校行事に携わる事ができました。

運動会では全校生徒が参戦し、あまり接点がない後輩たちと関わる事ができました。高校生は放送係、用具係、着順など各自の役割に責任を持ちながら行動しました。

弁論大会では皆異なる経験を持っているからこそ、各々の意見を述べる事ができ、新たに学ぶことができる貴重な体験です。

アメリカに長く在住している私にとっては、日本語を維持する場所、逆に短い生徒は新たな友達と会話する場所です。日本語学校で出会いと別れを何度も経験しながら、色々な思い出を作り上げる事ができました。

その中で辛かったことは、なんといってもコロナ禍です。中学三年生から高校一年生の年にかけて、授業は家からオンラインで受け、その後もしばらく日本語学校の行事が前のように行えなくなりました。卒業式も去年までは卒業生と数人の先生方だけの、とても小規模なものでした。

それが今年になって、ようやく昔のように全校生徒で卒業式を行うことができ、とても嬉しいです。

そして、ここまで育ててくれた両親に感謝を伝えたいです。補習校生活に加えて、現地校、スポーツや習い事など、全てにおいて、家族がいなかったらできなかったことです。ここまで支えてくれてありがとうございます。

ここで経験したことはアメリカ生活の中で勉強よりも日常生活が大事だと思う事です。日常の積み重ねが結果的に大きな結果を引き寄せるということを学びました。着地点はまだ先ですがこれから先もたゆまぬ努力を続ける決意を持ち、楽しかったことも辛かったことも吸収してこの先も頑張ります。

今日、私達は卒業します。皆それぞれ違う道に進みますが、補習校で学んだことを忘れずに、より成長するように精進します。校長先生をはじめ、諸先生方、そして運営委員会の皆様、本当にありがとうございました。これからも皆様のますますのご活躍を願い、答辞とします。

卒業生一同。

## サンクスギビングの思い出

4年1組 音琴日菜

私は、サンクスギビングに家族と車でテネシー州にあるグレートスモーキー国立公園へ旅行に行きました。24日に公園内に到着してビジターセンターでレンジャーブックを買いました。でも私には少しむずかしく公園内をぐるぐる回ってしまいました。公園内では、山頂にある展望台まで、すごく急な坂を登りました。途中で会ったアメリカ人のおじいさんが、「あと半分だよ！」と言ってハアハアとつかれていた私に教えてくれました。それを聞いてまだあるのかと思いました。山頂にはとても大きな展望台があり登るのにとってもつかれました。でもきれいな景色がみられてよかったです。

レンジャーブックのこうもくに川の生物のかんさつがあり、車で川までいどうしました。川はとてもすきとおっていたので生物のかんさつはしやすかったのですが、ずっとさがしてもみつからずあきらめかけたとき石をひっくりかえすと小さなえびの赤ちゃんのような生物がいました。とてもつかれたけど見つかって本当によかったです。そしてぶじにレンジャーバッジがもらえてよかったです。

## 「大切にしたい言葉」

6年1組 鈴木湊斗

ぼくが座右の銘にしたい言葉は、「継続は力なり」。どんなことも継続し、努力し続ければ必ず目標は達成できるという意味です。ぼくは去年の11月からレスリングをやっています。始めたきっかけは、ぼくはドラゴンボールが好きで、悟空やベジータみたいに強くなって家族を守りたいからです。小さい頃に空手をやろうとしたけど、こわくてあきらめてしまいました。でもアメリカに来て格とう技をやってみたいと思いました。初めて練習に行った時に技の練習をして、大変でした。でも自分でやりたいって言ったんだから、最後まであきらめずにやっていきたいと思いました。練習相手がぼくよりも体がでかくて、勝てるか不安になってきました。だけど毎日練習にはげんで、強くなってきたと思いました。そんな時に相手と練習している時に首を痛めてしまい、練習に行けなくなりました。痛い思いをして練習をしたくないと思いました。でも自分で挑戦してみたいと言ったからには、最後まで続けたいと思ってあきらめずに継続したいと思いました。今週初めての試合がありました。相手は自分と同じくらいの背の人でした。前に自分より大きい相手と対戦していたおかげで、自信を持って試合に取り組みました。そしてなんとか勝つことができました。継続という言葉を中心に、毎日練習をがんばったから、その成果が出たのだと思います。「継続は力なり」という言葉は、自分ががんばったから言える言葉だと思います。「継続は力なり」。これをこれからの座右の銘にしたいです。



ヒゲ森の言葉の森・探検



めんもく

やくじよ

面目躍如

評価にふさわしい活躍をすること。業績を残して世間からの評価がさらに上がること。

大事を小事の

犠牲にしてはならない。

ゲーテ

1749年〜1832年 ドイツの詩人、小説家

優先順位を明確にしよう。問題解決や時間の有効な利用につながるはずだ。